

介護職の魅力発信!

あなたの声が、介護職員の励みになります!

しながわふれあい メッセージ

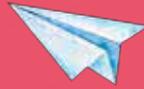
作品集



たくさんのご応募、ありがとうございました!



品川区 福祉部 高齢者福祉課



しながわふれあいメッセージ 作品集によせて

高齢化社会の進展とともに、介護人材の不足が全国的な課題となっています。品川区では、介護職を希望する方を増やすとともに、現に働いている介護職員の意欲向上を目指すために、区民の皆様へ介護職の魅力を発信することが重要と考え、令和4年度から「しながわふれあいメッセージ」事業を開始しました。

この事業は、介護サービスをご利用されている方やそのご家族から、介護サービスを利用して「助かった」「うれしかった」などのメッセージを募集し、介護職の魅力発信につながるメッセージを表彰するものです。

今回、164作品ものメッセージが寄せられ、選考委員会によって受賞作品が決定いたしました。この作品集では5つの受賞作品に加えて、惜しくも受賞には至らなかったものの、各選考委員から高い評価を受けた作品もご紹介しています。

これらの作品が介護職の魅力発信に大きく貢献し、品川区が掲げる「安心して高齢期を送ることのできる協働社会の創造」の実現につながることを心から願っております。

品川区福祉部高齢者福祉課

サービス種別 凡例

-  居介 … 居宅介護支援
-  訪介 … 訪問介護
-  通介 … 通所介護
-  地通 … 地域密着型通所介護
-  小多 … 小規模多機能型居宅介護
-  特養 … 特別養護老人ホーム
(介護老人福祉施設)
-  認共 … 認知症高齢者グループホーム
(認知症対応型共同生活介護)





金賞

メッセージを書いた方 **福島 由吏子様**

サービス種別

メッセージの相手 **品川区ヘルパーステーション東品川第二**



92才、要介護3の母の在宅介護を始めてから4年、フルタイムでの仕事と在宅介護を両立する肉体的・精神的ストレスは、筆舌しがたいものがあります。そんな環境の中でも多くの方々のお力で現在に至っておりますが、その中で一番の強力な助っ人さんは、毎日の訪問介護の方々です。

母の体調や日々の動きなど細かくチェックして、記録に残していただくので、私が不在時の状況もよくわかり、不安がありません。私が全く気付かなかったことをお知らせいただき、助かったことも多々あります。また、私が在宅介護の限界を感じてご相談させていただいたことがありましたが、そのときにかけていただいたお言葉を励みに、もう一度、頑張る気持ちになることができました。

訪問介護の方は、要介護者本人だけでなく、家族など介護者の精神的ヘルパーさんでもあることを実感しております。本当に感謝、感謝の日々であります。



銀賞

メッセージを書いた方 **H 様**

サービス種別

メッセージの相手

品川区立大井認知症高齢者グループホーム



母の認知機能の低下が深刻になり、施設入所の情報収集に疲弊していた折に、友人からグループホームについて教わった。親が入居して本人も家族も穏やかになったと。早速に見学に赴いた。

笑顔の施設長が出迎えてくれて、ダイニングキッチンに案内された。スタッフと共に食事の準備をする方、テレビ画面に夢中な方、スタッフと談笑している方、私に気づき挨拶してくださる方、うたた寝中の方、平和な温かい雰囲気感動した。でも母をどう説得して入所させたら良いのか不安を伝えると、施設長は「入所させるのではなく、新しいお家へ引っ越すという気持ちでいらしてください」と。きりっとした説明と明るい声に頼もしさを感じて、母の人生の新たな幕開けを信じたいと思った。

今、母が新しいお家へ引っ越して1年半が過ぎた。日々の様子を尋ねても、認知症の母からの返答は心もとないけれど、「本人らしさ」を尊重してもらい、大切に支えてもらっていることは母の表情からもわかる。

銅賞

メッセージを書いた方 **清田 朱見 様**

サービス種別

メッセージの相手

大崎ホームヘルプサービス



毎日決まった時間に訪問してくれるヘルパーさん。「カチャッ」とドアが開くとホッとします。雨の日も暑い日も寒い日も本当にありがとう。台風も大雪の日も命がけですよ。それでも来てくれるのは、私がヘルパーさんの手を借りないと生きていけないことを分かっているから。本当に数少ない、ありがたい理解者です。

ひとり暮らしの私は、ヘルパーさんと一緒に過ごす時間がとても楽しくて、自分が病気であることを忘れるほど。そしてまた、一人でいる時間を頑張ることが出来るのです。毎日、忘れずに来てくれてありがとうございます。

たくさんの素敵なヘルパーさんとの出会いに感謝するとともに、介護・看護の皆さんが少しでも長く続けられるよう、これからも品川区の明るい福祉に期待しています。

在宅サービス特別賞

メッセージを書いた方 平井 麻理 様

サービス種別

メッセージの相手 品川区小山台在宅介護支援センター



私の介護環境は89歳・障害者1級・要介護3の義母、94歳・要介護2の義父、障害者の主人と、85歳・実家に独居の母です。新型コロナウイルス感染症が始まったあたりから介護度が重くなり、孤立した社会環境と共に、私はついに心もガス欠になりました。

主人の両親に対して感謝もあり幸せになって欲しいが、やればやるほど疲弊する現状。そんなどん底でケアマネの大類さんに、自分の現状と気持ちを全て伝え、一年かけて頑固な義父も説得して施設を活用し、安心できる環境を共に設計しました。

その間常に寄り添ってくれていたなので、お陰様で難関も笑いながら越えられました。感謝でいっぱいです。本当にありがとうございます。あのまま1人で抱えていたらと思うだけで、ぞっとします。多くの方が介護で、私の様に苦しんでいる事でしょう。まずはケアマネさんに相談して、自分らしい介護作りをして、皆で幸せになってもらいたいです。きっと今だから思えるのでしょうかね。

入所サービス特別賞

メッセージを書いた方 N 様

サービス種別

メッセージの相手 グループホーム小山



父は、96歳で亡くなるまでの5年間を「グループホーム小山」で過ごさせていただきました。同じ場所の「小山倶楽部」で支援して頂いた期間を合わせると、通算13年間もお世話になったこととなります。

かくも長期間にわたり、父が皆さんの手厚い介護を受けて穏やかな余生を送れたことに本当に感謝しています。父が亡くなって早や4か月近くが経ちますが、今更ながら、皆様のご支援がなかったら仕事や家庭はどうなっていたらろう、きっと途方に暮れていたらろうと思っている自分があります。

担当者の方から毎月、父の様子を写真と自筆のお手紙で知らせ頂いたこと、お忙しい中Web面談に何度もご対応いただいたこと、入院時に親身にご対応頂いたことなど、数え上げればきりがありません。改めてご対応に深謝いたします。

私自身は父に大したことはできませんでしたが、お送りいただいた写真に残る父の笑顔を見て、心を癒されております。本当に有難うございました。

受賞作品以外にも、素晴らしい作品

メッセージを書いた方

肥沼 マユミ 様

メッセージの相手

ぶらりす・湯〜亀 SUN

サービス種別



父がぶらりす・湯〜亀 SUNに通って約半年になります。当初は表情も乏しく、昼は部屋の中で杖をつきながら歩き回り、夜中は十数回起き、娘の私の方が倒れてしまいそうな日々でした。

そんな父が皆さんのおかげで驚くほど変わりました。通いのある日は自分で髭を剃り、香水をつけてお迎えを待っています。そしておむつからブリーフに、要介護4から3にと、まるで奇跡が起きているようで驚きと感謝ばかりです。父の夢だった初孫の結婚式にも出席することが出来ました。山城さんが最初から最後まで見守り、何かあるとすぐ飛んできてくれたおかげで、家族も安心して式を楽しむことが出来、本当に感謝しかありません。

ぶらりす・湯〜亀 SUNでの暖かい家族のような心地よさ、皆さんの声掛け、接し方が父を変えてくださったのだと思います。「今日はどうだった?」と聞くと「最高やった」と返ってきます。スタッフのみなさま、父をありがとう。これからもよろしくお願いします。

メッセージを書いた方

H 様

メッセージの相手

ミライブ 花笑みケア 品川

サービス種別



「アレレ!? ひょっとして噂に聞く認知症!？」二世帯住宅で同居していた義理の母の変化に疑念を抱き、検査による確定診断がついた日、私の「家族の介護初心者」の日々が始まった。右も左も分からない中で介護認定の申請をして、人づてに評判を聞いて出会ったのが、ケアマネジャーの三村さんだった。

三村さんとの面談日の朝は、義理の母の「会わなきゃだめえ?」から始まる。そんな義理の母も、三村さんが来ればなんのことはない、実に楽しそうに話していた。なによりも、私自身にとって、「ともに介護を考えてくれる」三村さんの存在はどれだけ大きなものだったか。介護システムの型にはめ込むのではなく、本人や家族それぞれのキャラクターを受け止め、寄り添って、その人、その家族にとってのシアワセなかたちをともに探してくれる。

多くの人が、いつかは「高齢の家族との日々」を過ごすことになる。その時に、ケアマネジャーの存在は、心強く不可欠で密接な後方支援者だ。

メッセージを書いた方

栗原 貴美代 様

メッセージの相手

品川区大崎在宅介護支援センター

サービス種別



日に日に老いていく両親。とりわけ90歳の母は常に介護が必要な状態で、家族だけではサポートできず、大勢の方に助けられています。その中心となって支援しているのが、ケアマネジャーの岸田拓人さんです。

介護は時間の経過と共に楽になることはなく、状況は少しずつ悪い方向に向かうと実感。家族は苛立ち、時には母に暴言を浴びせてしまい、反省と罪悪感に見舞われます。こうした時、岸田さんに相談すると、家族の気持ちを理解し寄り添ってくれます。時には苛立った原因を考察し、新たな提案をしてくれます。

こうして通常の業務だけでなく、家族の心のサポートまでしていただき、家族は落ち着き、結果として母のより良い介護につなげることができています。岸田さんに家族皆が支えられ、心から感謝。ありがとうございます。

メッセージを書いた方

Y 様

メッセージの相手

デイサービス 弥弥

サービス種別



母が介護サービスを利用する様になったのは5年前です。家族は日中不在で、少しずつ物忘れが多くなった母一人では心配なので、デイに通うことになりました。通い始めの頃は気持ちが不安定な事も多く、迎えにきて頂いても「行かない」と困る日もありました。そんな時でも玄関から声をかけて下さったお蔭で、母の気分も変わり、休まずに行くことが出来ました。

その母が今ではデイが大好きで居心地の良い場所となり、ご機嫌で出かけて行きます。職員の皆様は家族のように接して下さり、食事は手作りの温かいご飯と味噌汁で、いつも完食です。入浴や排泄の介助なども頭が下がります。また、職員と一緒に作る季節にちなんだ手作り品はどれも素敵で、持ち帰ると家に飾ります。

何より母が日々穏やかに、いきいきと過ごせるのが有難く、母の笑顔を見ると娘の私も笑顔になれます。この夏に母は94歳を迎えることが出来ました。職員の皆様には感謝申し上げます。

のご応募ありがとうございました。

メッセージを書いた方

Y 様

メッセージの相手

品川区立平塚橋特別養護老人ホーム

サービス種別



一人暮らしでプライドが高かった母は、娘や他人のお世話になるのを一切拒否していました。足が悪くなり認知症も進んでも、特養への入居を納得させられるはずもなく、入居日は嘘をついて連れ出し、怒り出す母の声を聞きながらホームをあとにしました。

案の定、しばらくは夜中に「バッグ持ってこい」「帰るからタクシー呼べ」と徘徊してなだめるのが大変だったのですが、それでも居心地の良さからか、あんなに頑固だった母が「家に帰りたい」と言わなくなり、2年が経ちます。

娘では絶対できなかった爪切や入浴の手伝いも、スタッフの方にはお任せしているようですし、食べず嫌いでも口にしたこともなかったヨーグルトも、喜んで食べているようです。96歳にしては肌つやもよく、身ざれいな母に面会する度に、私達家族の生活が保たれているのも、ホームのスタッフの方々のおかげで、本当に神さまのような存在と実感しています。お陰様で母は100歳まで長生きできそうです。

メッセージを書いた方

石原 美代子 様

メッセージの相手

デイサービスセンター ドゥライフ品川

サービス種別



ケアマネジャーさんの紹介にてドゥライフを見学させていただき、皆さんの和やかさ、親しさを感じて入会を決め、無事一年を迎えることが出来ました。

目で見ても耳で聞き、まず驚いたことは、仕事上とは言え職員の方々の私達への配慮でした。どんなに些細な動きも見逃さず、駆け寄り手助けして下さる様子を見て、さすがと感服しました。機敏な動きや心優しい言葉づかいに涙がこぼれました。また月々の季節の変化に合わせて部屋一面に装飾をして下さり、幸せいっぱいです。

今はコロナ騒ぎで日々増減が激しく、心休まる時がありません。でもドゥライフで過ごす幸せをしみじみと身にかけて、一日一日を楽しんでいます。雨の日も風の日も心温まる送迎バスの運転手さん、ありがとうございます。ドゥライフの健全と皆さまのご健康をお祈りしながら、ごきげんよう！

メッセージを書いた方

奥野 久美子 様

メッセージの相手

品川区立大井林町地域密着型
多機能ホーム 大井林町倶楽部

サービス種別



林町が開業された時から、父と母がお世話になっておりました。父はほどなく体調をくずして入院し、その後老人ホームに入ってしまったので、母は一人ぼっちで寂しがっておりましたが、通いで林町にうかがうようになり、みなさんと生活することで、ひとりでの生活を落ち着いて過ごせるようになりました。

母は早くから認知症の傾向があったため、生活は兄と私の2人で分担して支えておりましたが、やはり介護は経験したことのある人にしか分からない大変さがあると思います。でも、林町のみなさんが、自分の家族のようにお世話して下さるので、本当に心の力となっています。同じ苦勞を笑顔で手伝って下さる人達がいることは、心の負担が軽くなり、こちらも自然と笑顔になれます。

林町のみなさんのお一人お一人の思いやりと笑顔は、本当に心にしみみます。私達家族は、みなさんのおかげでおだやかに介護を続けられています。今後ともよろしく願います。

メッセージを書いた方

宮良 恵美子 様

メッセージの相手

成幸ホーム

サービス種別



町工場の機械油が染み付いた父。ラジオと落語が好きで父の工場からは、ご近所の方との笑い声が絶えず溢れていました。元々足に障害を持つ父は工場を閉めてからめっきり歩かなくなりました。足の拘縮が進んで歩行困難になり、いよいよ施設入所。

介護が出来ない罪悪感を抱え、せめてもの思いで食事介助に通いました。冗談を言って職員さんと会話をしている様子を聞き、父らしく過ごしていることに安堵したものでした。

4年後のある朝、もたらされた父の死。受話器の向こうから漏れる職員さんの涙がらの嗚咽に、ただただ涙が溢れました。それは家族のように一緒に悲しんで下さる職員さんへの感謝の涙でもありました。「良い職員さんに恵まれて良かったね、お父さん。」心の中で父に語りかけました。父への寄り添い晩節を豊かにして下さった介護職の方々へ、心より感謝申し上げます。

令和4年度 しながわふれあいメッセージ作品集

2023(令和5)年1月 発行

品川区福祉部高齢者福祉課

〒140-8715 品川区広町 2-1-36 TEL:03-5742-6730(直通)

しながわふれあいメッセージ

検索